

1月は「行く」2月は「逃げる」3月は「去る」とよく言われます。3学期は本当にあっという間に過ぎていきます。2月には、児童会の引継ぎや各学年の学習発表会など、充実した月になりました。インフルエンザが、またはやり始めました。ご注意を!!

きらり治田

目次:

- 児童会 6年生から5年生へ引継ぎ! 1
- 地域に学ぶ ~稲荷山、桑原の歴史について語り部の方から聞く~ 2
- さよならコンサート ~金管バンド~ 2
- 地域へ発信 人形劇「ごんぎつね」 4年1組 3
- 世界へ発信!牛乳パック回収でカトマンドゥに木を植えよう!国際ボランティア委員会 3
- 内川先生! 元気な赤ちゃんを! 4
- 校地に緑を こころにみどりを ~ポプラ並木に込められた思い~ 4

児童会 6年生から5年生への引継ぎ!

2月16日(木)に、第2回の児童総会がありました。今年度の児童会は、田中児童会長のもと、「『咲かせよう あいさつの花 そうじの花 歌声の花 そして団結の花』 『目を見てあいさつ』 黙って清掃、整然とした廊下歩行 『ネパール、アフガニスタンへの支援活動』をスローガンとして、活動をしてきました。

「4月に種まきした、4つの花はどんな花を咲かせたでしょうか、総会では、その成果と課題とを発表してもらいました。自分のしてきたことに自信を持っている委員長さんは、発表の言葉にも力があつたように思います。また、役員でなくても、一年間委員会活動をやり遂げることができた人は、そのことがきっと大きな宝物になるでしょう、いよいよ引継ぎです、6年生の皆さん、ファイルの受け渡しで引継ぎが終わりではありません、職員玄関でそうじをしているKさん、すのこを持ち上げてその下のゴミを一生懸命にとってくれています、この姿が、後輩の見本となるのです、卒業までのわずかですが、6年生の皆さん後ろ姿で、全校を引っ張っていきましょう、」(教頭先生のお話)

13日(月)には、5年生の新委員長と副委員長との児童会引き継ぎ会を、21日(火)の児童集会で、全校に、正副委員長・書記の三役の自己紹介を、23日(木)には、児童会委員会があり、5年生の新委員長の司会進行で行われました。



児童総会で、6年生から5年生へ、児童会ファイルの受け渡しを行いました

27日(月)から、いよいよ5年生が中心となって委員会の当番活動も始まります。

6年生の皆さん、全校を引っ張っていただき本当にありがとうございました。



全校集会 児童会新役員の紹介



児童総会 今年一年を締めくくる委員長の活動内容の発表(上)と、児童会会員からたくさんの質問や意見が出されました。(下)



5年生の委員長の司会進行による初めての委員会

きりり治田

地域に学ぶ ～稲荷山、桑原の歴史について語り部の方から聞く～

2月7日(火)には、6年生全員が、クラスごとに、語り部の荒井さんからお話を聞いたり、実際のものを見たりして、稲荷山や桑原地区の歴史について知ることができました。

「写真でつづるふる里のむかし」(千曲市川西地区振興連絡協議会発行)を元にお話をお聞きしました。

商業都市稲荷山は、経済的に発展したことや伝染病の予防の面から水道施設を、長野や上田に次いでいち早く大正時代に水道工事が行われたこと。

桑原と稲荷山の町並みの違いや、江戸時代には、桑原と稲荷山はそれぞれ松代藩、上田藩だったこと。また、江戸時代末期に稲荷山をおそったマグニ

チュード7.4の善光寺地震で地元民284名、ご開帳で訪れていた旅人180名の計464名の方の命が奪われ、家屋もほとんどが燃えてしまったこと。

鉄道では、篠ノ井線の計画が明治26年からはじまり、稲荷山駅が明治33年にできあがったことをお聞きしました。

また、太陽暦の明治43年のカレンダーや太平洋戦争のときの戦死の通知など実際に見て触れることができました。

語り部の方々は、「自分たちの郷土を知り、自信を持って他の人に語れるようになってほしい。堂々と中学校へ行ってほしい。」という願いを持って話をしてくださいました。



語り部の荒井さん



水道工事(長野・上田についていち早く大正時代に行われた)



桑原宿(昭和30年代)



稲荷山(上八日町)(昭和35年)

3枚の写真いずれも、「写真でつづるふる里のむかし」(千曲市川西地区振興連絡協議会発行)

卒業までの残された時間、後姿で先輩達に示していきたいでしょう。

(児童総会 教頭先生のお話より)

さよならコンサート ～金管バンド～

2月25日(土)に、治田小学校の体育館において、金管バンドによる「さよならコンサート」が開かれました。

全員合奏「あまちゃん」のオープニングで始まった「さよならコンサート」、皆さんの心のこもった演奏で、体育館いっぱい幸せな気持ちになりました。

グループ発表では、全員で合わせることができたのは今日初めてと聞きました。3年生はとてもかわいらしい演奏、一生懸命に音を出そうとしているのが印象に残りました。4年生は、ちょっとゆとりがでて自分らしい音の響きを感じることができました。5年生は一つ一つ丁寧な音を響かせていました。来年度が期待できます。そして6年生、さすがです。カッコよかったです。迫力もありました。全員の演奏では、一人一人の個性が交わり心に響く演奏になりました。

6年生は金管バンドを通して様々なことを学んだと思います。

友だちと協力してやり遂げるすばらしさ

練習すれば確実に上達すること

何よりも音楽が大好きになった。好きだからこそ続けられる。そして休み時間にも音を響かせていた

このことを大事にしてください。

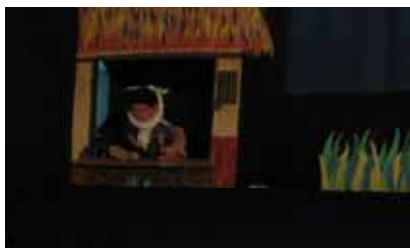
…最後に素晴らしいコンサート

となったのは、自分がかんばったこと。支えてくれた友だち、そしておうちの方。演奏の質を高めてくださった早川先生、そして誰よりも皆さんを支えてくださった依田先生に感謝を込めた拍手をしましょう。

(教頭先生のお話から)



演奏を終えた金管バンドの皆さん、依田先生、早川先生と



「いったいだれが、いわしなんかをおれの家へほうりこんでいったんだろう。おかげでおれは、ぬすびとと思われて、いわし屋のやつに、ひどい目にあわされた。」と、ぶつぶつ言っています。



最後に4年1組の皆さん全員の合唱です！

地域へ発信 人形劇「ごんぎつね」 4年1組

「すごい、プロみたい」見終わった後の子どもの口から、感嘆の声が上がりました。8日(水)の5時間目に、4年1組の人形劇「ごんぎつね」を鑑賞させてもらいました。舞台も照明も本格的。ライブ感満点の歌声と台詞、たったひとつ年上の子どもがやっているとはとても思えない、素晴らしい舞台でした。4年生になることへのあこがれを持つことができました。更に、ここまで仕上げるための、並々ならぬ熱意と努力も、同時に教えてもらいました。

(3年学年通信No35より)

4年1組の皆さんは、総合的な学習の時間に、人形劇に取組みました。2月には、各クラスに発表を行いました。

本番は、2月25日(日)に稲荷山公民館で、地元の方々への公開となりました。堂々とした発表になりました。

こんなハプニングがありました。最後

のクライマックスの場面、兵十がごんぎつねをみつけて、火縄銃で撃つシーン。火縄銃が立てかけてあった大道具の壁が下に落ちてしまいました。しかし担当者は火縄銃を落とさず持ち続けてくれました。「この場面では何が必要なのか。」を自分で判断したのです。この判断ができたのは、何回も練習を重ねて、このシーンのポイントを一人一人が自覚していたからなのだと感じました。そこまで一生懸命に取り組みました。

担任の小林先生のギターの音に合わせて、シーンが変わったり、歌を歌ったりと本当に素晴らしい感動の人形劇でした。

翌日、地域の方から、学校に感動の電話がありました。本当に素晴らしい人形劇でした。



「考えることはグローバルに、やることは足元から」
そして「一人の百歩より百人の一步」

(NGOカトマンドゥ 笠井さんのFAXより)

世界に発信！

牛乳パック回収でカトマンドゥに木を植えよう！ 国際ボランティア委員会

今まで回収した牛乳パックをNGOカトマンドゥの笠井さんに渡しました。笠井さんから次のような内容のお手紙をいただきました。

回収された牛乳パックは820Kgで1640本の苗木を植えることができます。森は土をしっかりと踏まえて斜面の崩壊を防いだり、子どもたちの死亡率が高い下痢をふせいでくれます。

一昨年のネパールの大きな地震の時も、幸いにして森が残ることができました。村の人々はバケツや水ガメで貯水タンクから水を運び苗にかけてくれています。復興のけはいはまだですが、森と水があれば自分たちは生きていけるという気持ちです。さらにネパールに森を増やすための牛乳パックの回収を続けてください。

(NGO カトマンドゥ 笠井さんからのFAX)

内川先生！ 元気な赤ちゃんを！

2月21日から、2年2組の学級担任である内川先生が、産前産後休暇に入りました。子どもたちは、生活科の単元において、「成長の絵本」づくりを行い、内川先生とともに、より命の尊さや、おうちの方々から愛されていることを学ぶことができました。学級担任は、5年生で少人数学習を教えてくださいました北澤先生です。5年生の少人数学習は、新たに北嶋先生になります。先生は、中学校で数学の先生として活躍されていました。

保護者の皆様には、内川先生へ温かい声かけなど、お気を使っていたいただき、本当にありがとうございました。



ホームページもご覧ください
<http://www.chikuma-ngn.ed.jp/~harutael/>

千曲市立治田小学校
千曲市稲荷山1360

電話 026-272-1054
FAX 026-272-4644
Mail harutasho@school.chikuma-ngn.ed.jp

文責 塩野入 崇

校地に緑を ころろにみどりを ~ポプラ並木に込められた思い~

「昭和50年4月新装なった校舎、みどりの樹木が1本もない校地、着任の前日児童整列場所の校門から玄関まで碎石を敷いたという真新しい道路を通して統合治田小学校に迎えられた。…この治田小学校の校地や建物の中にも行政や地域の方々の「学校だから、教育の場だからこそ」の期待と願いが込められているのだと思う。…校地に樹木を「子どもの心にみどり」を願い、PTA全戸作業により部校

の樹木を校門前、校地の北側・南側・校庭の周囲に日曜ごとに移植する。…」
('治田小学校開校30周年記念誌'より第2代校長 北澤先生寄稿文より)

当時のPTAの方々の思いが込められています。…そんな校庭の東側のポプラ並木ですが、45年の年月を経て、老木となり、強風が吹くと枝が落下したり、根が張りすぎて、**倒木の恐れがあり、危険な状態でもるので、伐採する方向で考えています。**

子どもたちには、当時の方々の思いを受け止められるような活動を考え、実践できればと思っています。

今後は、子どもたちの活動も含めて、保護者の皆様や地域の皆様にお知らせをしていきたいと思いますので、ご理解をよろしく願います。



平成13年度の頃のポプラの木
(30周年記念誌より)